

タイムテーブル

時間	内容
13:00 ~ 13:30	受付
13:30 ~ 13:45	開会行事 101 教室
セッション I	
13:50 ~ 14:40	— 『2023 年ユネスコ教育勧告』を学ぶ—
14:40 ~ 14:50	移動・休憩時間
セッション II	
14:50 ~ 15:20	自由研究発表 I (全 4 会場) A:206 教室 B:203 教室 C:204 教室 D:205 教室
15:20 ~ 15:25	移動・休憩時間
15:25 ~ 15:55	自由研究発表 II (全 4 会場) A:206 教室 B:203 教室 C:204 教室 D:205 教室
15:55 ~ 16:00	移動・休憩時間
16:00 ~ 16:30	自由研究発表 III (全 4 会場) A:206 教室 B:203 教室 C:204 教室 D:205 教室
16:30 ~ 16:35	移動・休憩時間
16:35 ~ 17:05	自由研究発表 IV (全 4 会場) A:206 教室 B:203 教室 C:204 教室 D:205 教室
17:05 ~ 17:15	移動・休憩時間
17:15 ~ 17:35	閉会行事 101 教室
懇親会 奈良教育大学 生協	
18:00 ~ 20:00	

201 教室にて協賛企業・団体ブースを出展しています。

自由研究発表 <A~D 会場>

発表は 1 発表あたり 30 分間です（発表 20 分、質疑応答・コメント 10 分）。会場スタッフが 15 分経過・20 分経過・30 分経過でベルを鳴らします。発表時間の厳守をお願いいたします。

◆A 会場（206 教室）

- A-I 「日本で最も美しい村」連合のもつ ESD 実践の場としての課題と可能性
河本 大地（奈良教育大学）
- A-II SDGs の視点から捉えた中学校社会科地理的分野の授業実践
－アフリカ州におけるフェアトレードとモノカルチャー経済の関係性から－
東 晃太郎（奈良教育大学・学）
- A-III 文化遺産を通じた ESD の授業開発 －高校 2 年地理総合における実践から－
新宮 済（奈良女子高等学校）
- A-IV 春日山原始林の保全を題材とした ESD の実践
中村 友弥（奈良市立朱雀小学校）

◆B 会場（203 教室）

- B-I 歴史文化遺産を通じた ESD の社会実装
中澤 静男（奈良教育大学）、川井 徳子（ソーシャル・サイエンス・ラボ）
- B-II 学習科学を基盤とした ESD の学習理論 －学習者の変容を促すことを目的として－
河野 晋也（大分大学教育学研究科）
- B-III 学校教育目標の実現に向けた総合的な学習の時間の実践
－「探究」的な学習を通して自己の生き方を「探求」する－
井阪 愛子（平群町立平群中学校）
- B-IV 自立活動と ESD の共通点および有用性の検討
－腐葉土づくりを通じた自立活動の指導と児童の変容－
菊池 甲余子（姫路市立水上小学校）

◆C 会場 (204 教室)

C-I 学校教育における ESD カリキュラムの概念についての研究

後藤田 洋介 (相愛大学)、河野 晋也 (大分大学教育学研究科)

C-II ESD の視点を取り入れた小学校社会科歴史学習の開発

– 小学校第 6 学年社会科「聖武天皇と大仏づくり」の実践を通して –

島 俊彦 (福岡市立七隈小学校)

C-III 知行合一 – 大塩平八郎の乱から学ぶ –

三笠 日向 (大阪市立新森小路小学校)

C-IV 文化財の未来を考える ESD 実践 – 身近な未指定文化財に想いを寄せて –

丹後 七重 (奈良教育大学附属中学校)

◆D 会場 (205 教室)

D-I これからもノダフジが咲き続けるために – 新札を起点とした ESD 教材開発の検討 –

栗谷 正樹 (大阪市立今川小学校)

D-II 「SDGs×協働学習」ESD を主軸とした学校づくり

– 『所属感・存在感・一体感・充実感』のある生徒育成 ESD 道徳実践を通して –

相生 真志 (大和郡山市立郡山中学校)

D-III 児童が身近な問題として戦争・原爆を捉える教材開発の構想

– 小学校 6 年生総合的な学習の時間「片西平和学習」の実践から –

中澤 哲也 (大和郡山市立片桐西小学校)

D-IV SDG-UP「国連 SDGs 入門」について

加藤 久雄 (奈良教育大学)

自由研究発表 I : 14 時 50 分～15 時 20 分

自由研究発表 II : 15 時 25 分～15 時 55 分

自由研究発表 III : 16 時 00 分～16 時 30 分

自由研究発表 IV : 16 時 35 分～17 時 05 分